

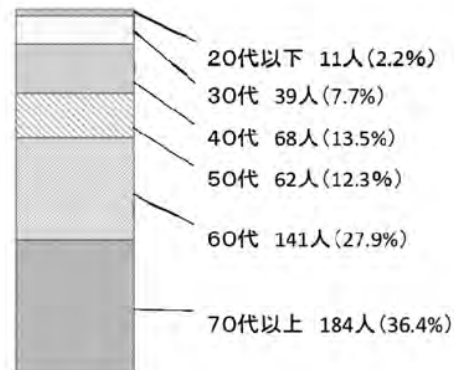
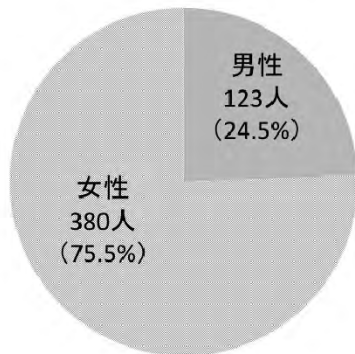
# 診療放射線技師認識度調査とOTAフェスタ 出展ブースアンケート報告

福利調査委員会

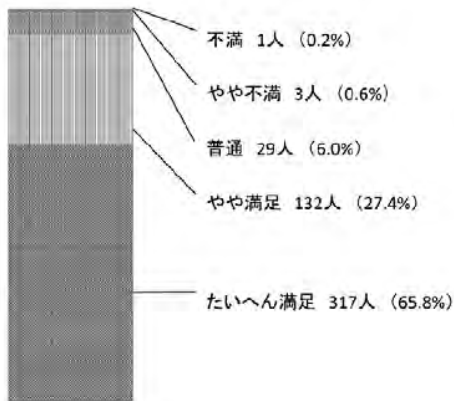
公益社団法人へ移行後、初の試みとして都民の方々がどのくらい診療放射線技師という職業を認識しているのか、またどのようにして認知したのかを、毎年参加しているOTAフェスタにてブース来訪者へ調査を行ったので報告をいたします。

調査日：平成24年11月3日～4日  
 対象：一般都民（ブース来訪者）  
 来訪者人数：600名  
 アンケート人数：503名  
 ブース内の詳細：\*骨塩定量検査  
                   \*乳がん触診体験（ファントム使用）  
                   \*放射線に関する相談（ポスター展示含む）

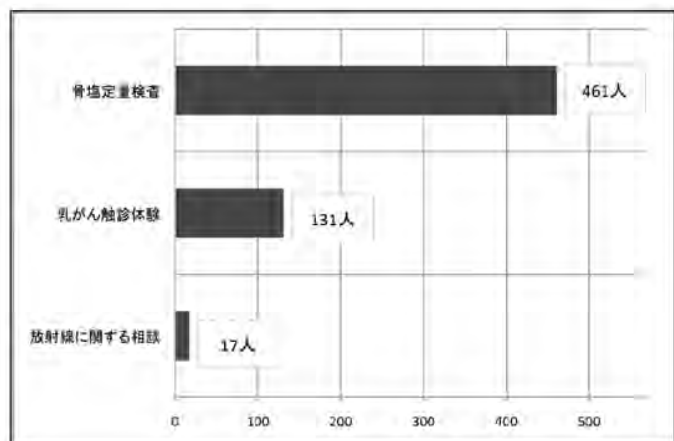
## ■回答者の内訳



## ★東京都診療放射線技師会ブースの感想をお聞かせください



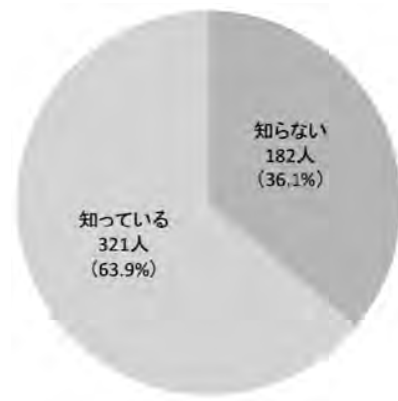
## ★何に興味を持ちましたか（複数回答）



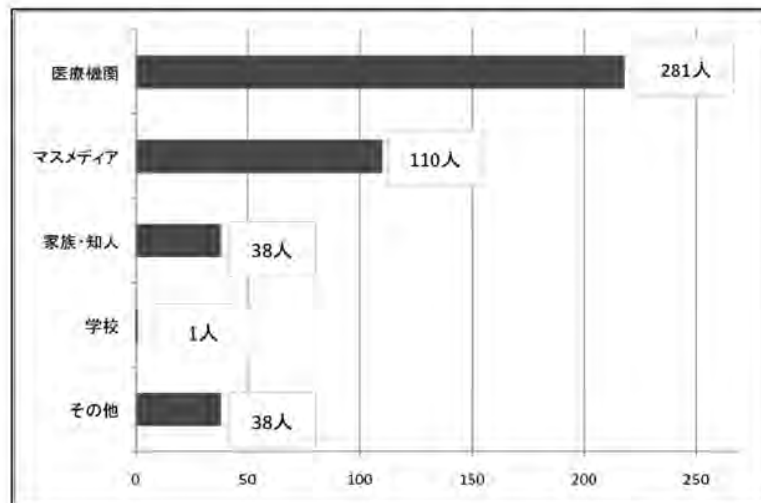
★また来たいと思いますか



★「診療放射線技師」という職業をご存知ですか



★（「知っている」と答えた方にお聞きします）何で知りましたか（複数回答）



※マスメディア＝新聞・テレビ・雑誌。インターネットを含む。

調査分析

今回は大きく2つに分けて調査をおこなった。ひとつは技師会ブース内で興味を持ったコーナーと我々診療放射線技師の認識度についてである。

技師会ブースについては全体の7割以上が骨塩定量検査であった。そのため女性が7割以上を占めており、毎年技師会ブースへ来訪して自分の骨塩数値を確認していた方が多かった。

診療放射線技師の認識度については半分以上の方が認識しており、その多くが医療機関で知ったと回答していた。

今回の調査は女性の割合が高く高齢の方が多かったため、都民の方々の診療放射線技師の認識については年齢の偏りがあった。ただ最近としてはマスメディアやインターネットの普及にともない認識度は向上していると思われる。当会としても今後はこの数値の向上を目指していきたいと思う。

今後は診療放射線技師の業務等についての認識について調査していきたい。

最後に調査にご協力いただいた広報委員会の高坂委員長、田中委員そして第8地区の会員スタッフへ感謝申し上げます。

以上